

平成 31 年度

事業計画書

社会福祉法人洛南福社会

平成31年度事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
管 理 職

【平成31年度方針】

地域包括ケアの推進による中重度の要介護者や認知症の人への対応の強化、地域での支援ネットワークや医療と介護の連携の強化を図っていきたい。今後も人材難が続くと予想される中、働きやすい環境を整備し、長く継続して働ける職場作りをしていく。

地域の安心の拠点として地域とともに歩む洛南福祉会であり続けることを大切にしていきたい。

【重点目標】

- 1 理念の実践を意識し、高齢者の尊厳を守り、安心した暮らしの提供
身体拘束や虐待等人権を侵害することのない暮らしを提供するとともに、専門職としても職業倫理を高めることに努めていく。
- 2 人材確保
福祉を支える人づくりに寄与するため、介護福祉士・社会福祉士等の資格取得のための現場実習などの受入れから就職へつなげる。
外国人技能実習生の受け入れに向けての準備をしていく。
- 3 人材育成・定着
質の高いサービスの提供は職員の資質によって大きく左右されることから、職員研修の充実を図るとともに、資質向上を促すため各種の資格取得（介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等）を奨励する。
- 4 感染症対策
各種感染症については、予防や拡大防止のため、感染症対策委員会で季節にあわせた感染症の学習会や予防を奏功させる。
- 5 事業所間の連携
向島・横大路・深草の地域のご利用者が地域で安心できる暮らしを提供できるように事業所間の連携を強化していく。

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

【平成 31 年度 方針】

「家で見れなくなったから施設に入れた」ではなく「今はヴィラ向島で生き生きとしている」を目指して、ご利用者・ご家族が納得できるサービスを追求する。今まで考えなかった、行わなかった事に取り組み、「こんなことも施設で出来る」と感じてもらえるヴィラ向島になる。

【重点目標】

1. 発想の転換

- ・斑制度を導入し、ご利用者の個性に目を向けその人が望む生活を追及する
- ・ひとりひとりの職員に具体的な役割を与えることで、責任感を持ち取り組む環境をつくる。

2. 社会との交流

- ・日常生活や行事の中でご利用者間の協力・交流の機会を増やす。
- ・今まで接点がなかった近隣の方々や社会資源との関係作りを行い「地域に根ざした施設」づくりを目指す。

3. 食生活の充実

- ・普段人気のある献立以外に、昔人気のあった献立や定番の行事食を毎月提供する。
- 献立内容は個別に評価し献立作成に活かす。

4. 生き生きした生活の追求

- ・ご利用者ができる事に目を向ける為、目的別の委員会や研修を通して、専門知識を向上させる。

平成31年度 特養年間行事予定

月	行事内容		備考
4	花見外出	花見外出の為桜の状態により月2回行う事もある。	希望者行事(実費負担)
5	外出		希望者外出(実費負担)
6	外出		希望者外出(実費負担)
7	七夕		施設行事
8	納涼祭	家族、ボランティア参加	施設行事(参加費)
9	敬老祝賀会	ケアハウス、レーベンと合同	施設行事
10	秋の外出 すばるデパート		希望者行事(実費負担)
11			
12	忘年会		施設行事
	餅つき大会		施設行事
1	初詣		希望者行事(実費負担)
	新年祝賀会		施設行事
2	節分		施設行事
	チョコレートフォンデュ		施設行事(参加費)
3	ひな祭り		施設行事

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 ショートステイ

【平成 31 年度 方針】

ショートステイサービスを利用する方の幅広いニーズに対応できる事業所となる。

利用することの満足度を高める為に、今まで行っていなかった新たな取り組みに挑戦する。

【重点目標】

1. ご利用者ニーズへの対応

ショートステイご利用者の日程変更やキャンセルに対応する為、追加利用を希望されているご利用者への空き情報の発信、キャンセル待ちに対して特養入院者のベッドの空き情報の提供を行う。

2. サービスの質の向上

ご利用者、ご家族より普段の生活の様子や自宅の環境に関する情報を集め、委員会やカンファレンスを通して過ごしやすい環境作りを行う。

3. 行事の充実

- ・ご利用者に楽しく利用して頂けるよう、季節の外出行事（花見・紅葉等）の立案・実行を行う。
- ・ご家族に行事の参加を促し、一緒に楽しんで頂く。

4. 食事の充実

ご利用者の一つの楽しみでもある食事について、提供方法を改善し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供する。

平成 31 年度 事業計画

社会法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 総務部

【 平成 31 年度 方針 】

平成 31 年度は、前年度に 2 会計増えたことにより、全体で 16 会計となるため、毎月の保険請求業務・各種支払い内容を精査し、収支を明確にする。人材確保として、就職フェアへの参加、実習生を通しての採用、外国人労働者の受け入れを行う。
レーベン横大路総務部と連携して上記達成を目指す。

【重点目標】

会計分析

1. 毎月の介護報酬収入・利用者負担金収入と、人件費支出・事務費支出・事業費支出の収支を把握し、安定した施設運営に努める。
2. 半期決算を行い、事業計画の進捗状況を確認する。

人材確保

1. 人材育成プロジェクト・実習担当者と連携を図り、新規学卒者の採用を目指す。
2. ベトナム人技能実習生の受け入れと、安定した生活環境の提供に努める。
(ヴィラ向島 1 名 レーベン横大路 1 名)
3. 人材紹介・派遣会社との関係を築き、人材不足の折には速やかに人員補充ができるように努める。

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
ヴィラ向島デイサービスセンター

【平成 31 年度 方針】

開設 20 年を過ぎ、さらなるサービスの質の向上や、ご利用者に満足いただけるサービス提供として「また行きたい、次の利用が楽しみ」と思っていたいただけるような通所介護を目指す。

認知症・重度要介護者のご利用者にとって心地よい「居場所」、ご家族にとって安心できるサービス提供に努める。

【重点目標】

1. 専門職としての技術、知識の習得

- ①多様な要介護者を受け入れることができるように、法人内介護ランク制度を活用し介護技術を身につける。
- ②認知症、重度要介護についての外部研修に参加する。
- ③家族支援についての外部研修に参加する。
- ④資格取得の奨励と勉強会への参加。

2. 事業運営の安定化

- ①ご利用者、ご家族の声を聞きニーズの実現化を図り、利用しやすい事業所を目指す。
- ②地域の居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、多数の事業所とサービス連携・関係強化を図り利用率、稼働率に繋げる。
- ③環境、設備面の充実・修繕個所の点検・維持を徹底し新規利用者の獲得やリピーターの確保を目指し登録数の増加・稼働率に繋げる。

3. 人材育成及び人材確保

- ①実習生の受け入れについて実習プログラムの充実と養成校との関係強化を図る。
- ②実習後の研鑽の場としてアルバイトを受け入れる。実習、アルバイトを通じて法人の人材確保に繋げる。

平成31年度

年間行事・レク

月	内容	担当
4月	お花見ドライブ	
5月		
6月	買い物ツアー	多賀・岡田・ 花田
7月	↓	
8月		
9月	敬老会	北内・立石・ 笹山
10月	運動会	
11月	秋祭り	堀井・鳴川
12月	クリスマス会	
1月	茶話会	
2月	買い物ツアー	吉田・野藤・ 今井・前田
3月	↓	

平成31年度 ヴィラ向島デイ 勉強会(予定)

4月	介護ランク制度/認知症について	
5月	介護ランク制度/認知症について	
6月	法定研修(虐待)介護ランク制度/認知症について	
7月	法定研修(身体拘束)介護ランク制度/認知症について	
8月	法定研修(事故予防)介護ランク制度/認知症について	
9月	介護ランク制度/認知症について	
10月	法定研修(褥瘡)介護ランク制度/認知症について	
11月	法定研修(身体拘束)介護ランク制度/認知症について	
12月	法定研修(事故予防)介護ランク制度/認知症について	
1月	介護ランク制度/認知症について	
2月	介護ランク制度/認知症について	
3月	介護ランク制度/認知症について	

毎月第2火曜日に実施

・介護保険法より、「人権について」「事故予防について」「感染症について」「介護技術について」の勉強会が必須
 そのことより、年間で法人勉強会は上記内容を重視し予定されている。

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
元源 深草

【 平成 31年度 方針 】

- 1: 法人理念を意識し、ご利用者にとって心地よい「居場所」となるようサービスを提供する。
- 2: ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けて頂くために、他の居宅サービス事業者・地域の関係者との連携に努める。
- 3: 介護報酬改正に伴い制度を理解し、ご利用者・家族、地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【 重点目標 】

1. ご利用者にとっての「楽しみ」を追求する
 - ① ご利用者や地域のニーズを探り、元源深草らしい 3 時間の過ごし方を日々検討・実践する。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ① 地域ケア会議・運営推進会議等で事業所の活動をアピールするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域住民や学校、保育園との交流を行う。
3. 稼働率 80%を目標に、新規ご利用者獲得・職員のスキルアップに努める
 - ① 施設内外の研修や部署内での勉強会に積極的に参加する。
 - ② 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係施設との連携を積極的に図る。
 - ③ ご利用者に安心してご利用頂けるよう、日々の関わりを大切にしつつ、職員間で協働し、情報収集及びアセスメント力の向上を図る。

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

【平成 31 年度 方針】

当居宅介護支援事業所は、御利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、ご利用者が可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう適切な居宅サービス計画（以下、ケアプラン）を作成します。

行政や地域包括支援センター、医療機関、居宅サービス事業所、民生委員等との連携により、御利用者が住み慣れた地域で生活できるよう支援します。

【重点目標】

1. 各御利用者の個別性に対応した適切なケアプラン作成を実施します。
 - ・専門職としての倫理を保持し、ご利用者の考えや価値観を尊重します。
 - ・職員の研修プログラムを策定し、資質向上に努めます。
2. 居宅介護支援運営基準を順守します。
3. 経営の安定化を図ります。
 - ・介護支援専門員 1 名あたり月 35 件のケアプラン作成を実施します。
 - ・主任介護支援専門員資格取得を積極的に促し、1 名以上の主任介護支援専門員及び 3 名以上の介護支援専門員の人員体制を継続し特定事業所加算Ⅱの算定を継続します。
4. 地域包括ケア推進のため、向島地域包括支援センター、行政、各居宅サービス事業所等の社会資源と連携していきます。
 - ・地域の活動に積極的に参加します。
5. 防災意識を高め、災害発生時に備えます。
 - ・地域の防災活動と連携していきます。
6. 働きやすい職場環境づくり
 - ・職員同士で意見交換ができる雰囲気づくりに努めます。
 - ・勤務時間内で業務が完了できるよう業務の効率化を図ります。

平成31年度 ヴィラ向島居宅介護支援事業所 年間研修計画

定例研修（居宅内部研修）		その他研修
4月	成年後見制度について	法令研修・法人研修
5月	事故、緊急時の対応	法人CM会議
6月	倫理及び法令遵守に関する研修 （集団指導後）	介護支援専門員 （専門、更新）研修
7月	事例検討	伏見区事業連絡会及び部会
8月	災害発生時の対応研修	主任ケアマネ連絡会
9月	事例検討	地域ケア会議
10月	業務マニュアルについて	京都市老人福祉施設協議会 居宅介護支援部会
11月	事例検討	
12月	認知症について	
1月	事例検討	
2月	利用者のプライバシー保護	
3月	事例検討	

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ケアプランセンターあかつき

【平成 31 年度 方針】

御利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、ご利用者が可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう適切な居宅サービス計画（以下、ケアプラン）を作成します。

行政機関や地域包括支援センター、医療機関、居宅サービス事業所、民生委員等との連携により、御利用者が住み慣れた地域で生活できるよう支援します。

【重点目標】

1. 各御利用者の個別性に対応した適切なケアプラン作成を実施します。
2. 各御利用者の個別性に対応した適切なケアプラン作成のための研修プログラムを策定します。
3. 居宅介護支援運営基準を順守します。
4. 経営の安定化を図ります。
 - ・平成 31 年度前期中に介護支援専門員 1 名あたり月 30 件のケアプラン作成を実現します。
 - ・主任介護支援専門員 1 名及び介護支援専門員 3 名の人員体制を維持し、開設時から継続している特定事業所加算Ⅱを算定します。
 - ・サービス実施地域は、伏見区深草支所管内、伏見区桃山町としておりますが、伏見区醍醐支所管内からのご要望にもお応えしていきます。
5. 地域包括ケア推進のため、サービス提供実施予定地域内の地域包括支援センター、行政、各サービス事業所等の社会資源と連携します。
地域活動が盛んに実施されておりますので、ともに参加していきます。

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヘルパーステーション ヴィラ向島
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

【平成 31 年度 方針】

介護保険制度の基本指針である自立支援を目的とした援助を心掛ける。
専門的な援助を行うことで要介護状態にある方も在宅での暮らしを継続ができるように支えていく。

【重点目標】

① 職員の知識・技術の向上

- ・介護技術・認知症・精神疾患の勉強会を行うことで、基礎知識や対応方法を身につけ援助に活かす。
- ・同行訪問による個別指導の実施。

② 人材の確保・安定

- ・ヘルパーの多様な働き方対応することで、長期的に働ける人材を確保する。
- ・年 2 回ヒアリングを実施し、風通しのよい職場づくりをする。

③ 事業の安定

- ・定期的な営業活動を通して、新規の居宅介護支援事業所の開拓を行う。
- ・緊急時や多様なニーズに対応できるように、訪問スケジュールの効率化を図る。
- ・同一敷地内のケアハウスと連携を図ることで、訪問介護が必要なご利用者に対し積極的にサービスを提供していく。

平成 31 年度 ヘルパーステーション勉強会 計画書

年	月	勉強会	担当
平成 31 年	6 月	認知症について	
	7 月	認知症の方の対応方法	
	9 月	精神疾患について	
	10 月	精神疾患の方の 対応方法	
	12 月	介護技術について	
平成 32 年	1 月	介護技術について	
	2 月		

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

【平成 31 年度 方針】

洛南福社会の「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」という法人理念に基づき活動する。

入居者と職員のコミュニケーションを密にし、『より活発に入居者同士が交流できる環境』と『安心して快適な住まい』の提供に努める。

【重点目標】

1. 災害等に対する取り組み
 - ・自然災害に備え、実践的な防災訓練を実施する。
2. 地域交流
 - ・すこやかサロン等、地域行事へ参加する。
 - ・地域の学生・ボランティアによるイベントを企画し、地域との交流を図る。
3. 入居者確保の為の広報活動の実施
 - ・ホームページ等の活用や地域へ出向く等施設の情報を発信し、入居対象者やそのご家族、居宅介護支援・地域包括などの事業所にも広くケアハウスを知ってもらおう。
4. 職員研修
 - ・法人研修への参加や部署内で勉強会を実施する事で事故予防、認知症についてや人権・尊厳について学ぶ機会を作る。
 - ・より良いサービスの提供を目指し研修を受け、職員の資質向上を図る。

平成 31 年度

<年間行事計画書 >

開催日時	行事内容	食事の内容	開催場所	備考
4月	花見	昼食弁当注文	未定	外出希望者のみ
6月未定	降誕会 (種智院大学)		ケアハウス玄関	自由参加
8月	納涼祭	昼食バイキング	デイサービスフロア	希望者のみ
	身元引受人との 意見交換会		会議室	
9月中旬	敬老祝賀会	昼食松花堂	デイサービスフロア	自由参加
	交流会	お茶菓子	ケアハウス食堂	自由参加
10月下旬	食事ツアー	外食		外出希望者のみ
12月下旬	クリスマス会 (すばる高校吹奏楽部)	クリスマス ケーキ	ケアハウス食堂	自由参加
	もちつき大会	きなこ餅等	ケアハウス食堂	自由参加
1月上旬	元旦	昼食おせち料理	ケアハウス食堂	
2月上旬	節分	巻き寿司 いわし	ケアハウス食堂	
	寿司パーティ	昼食寿司	ケアハウス食堂	希望者のみ
	交流会	お茶菓子	ケアハウス食堂	自由参加
3月下旬	定期演奏会 (すばる高校吹奏楽部)		文化パルク城陽	外出希望者のみ

<月間イベント・サークル活動計画書 >

開催日時	イベント内容	食事の内容	開催場所	備考
毎月 第3木曜日	買い物ツアー		近商かベルファ	事前申し込みあり
毎月 第1火曜日	書道		1階会議室	自由参加
毎月 第1日曜日	音楽レク		ケアハウス食堂	自由参加
毎月 第2水曜日	絵手紙		ケアハウス食堂	自由参加
5月・11月 第2木曜日	茶道		ケアハウス食堂	自由参加
隔月 不定期	フラワー アレンジメント		ケアハウス食堂	事前申し込みあり
毎月 第3日曜日	特養 カラオケボランティア		特養2階食堂	カラオケ有志
毎月 第2日曜日	カラオケ大会		ケアハウス食堂	自由参加

その他

- ・閉じこもり防止、筋力増強：簡単な体操（腰痛や転倒予防）
- ・認知症予防：頭の体操（クイズ・手遊び）
- ・季節の食事（春・夏・秋・冬）

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
特別養護老人ホーム レーベン横大路

【 平成 31 年度 方針 】

法人理念を具現化するために、ご入居者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、その人らしい生活が送れるように関わりを持つ。

地域密着型特別養護老人ホームとして、地域に存在する社会資源との共働の機会を増やし、地域福祉発展への貢献度を高める。

【 重点目標 】

1. 稼働率の安定化

- ① ご入居者の健康状態に合わせた関わりを持つことに重点を置き、心身機能の低下を予防することで今までの生活を継続できるように援助を行う。
- ② 早期に体調の変化に気付けるよう、嘱託医及び医療機関との連携を図りつつ、状態観察や受診による体調管理を行い、入院を最小限にとどめる。
- ③ 入院及び退所による空き部屋が出た場合は、速やかにショートステイの空室利用に繋げ、稼働率の低下を最小限にする。

2. サービスの質の向上

- ① ご入居者の当たり前の生活、安心できる生活を提供するために、日頃の様子やご家族からの情報の収集に努め、日常生活の中にある「喜び」とは何かを考え、実現していくことでご入居者・ご家族の満足度を高める。
- ② 健康状態や生活背景等にあるご利用者の不安に焦点を当て、日頃の様子から得られる情報と専門職として得ている情報をチームで共有し、安定したケアが行えるように努める。
- ③ 職員が安心して働き続けられる職場作りに努め、人材育成の取り組みや研修等を通じて職員の資質向上を図ることで、より良いケアを提供する。
- ④ 第三者評価を受診し、今までのケアの振り返りを行うと共に今後のケアの充実に繋げる。

3. 地域との連携

- ① 2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、地域住民に開かれた施設づくりを目指す。
- ② 組織的・計画的に横大路保育園や横大路児童館との交流を図り、地域社会の一員として地域福祉の増進に寄与するように努める。

平成31年度 年間行事計画

月	行事名	備考
4月	春の風物詩	
5月	端午の節句	
6月	ユニット企画	
7月	七夕	保育園交流
8月	夏の風物詩	
9月	① 敬老祝賀会 ② <u>レーベン横大路祭り</u>	
10月	① 区民運動会参加 ② 児童館ハロウィン	①②地域行事
11月	秋の風物詩	
12月	① 冬至(ゆず湯)② <u>クリスマス</u> ③新年準備④もちつき	④保育園交流
1月	お正月・初詣	
2月	節分	
3月	① ひな祭り ② <u>ふれあいのつどい参加</u>	②地域行事
その他	お誕生日会(該当月) おやつ作り(月1回程度)	

* 下線が引いてあるものは、ご利用者の実費負担となります。

平成31年度 研修・勉強会

感染対策研修	・手洗い
	・食中毒
	・インフルエンザ、レジオネラ
	・ノロウイルス
	・流行している感染症
褥瘡予防について	
事故予防について(2回)	
高齢者虐待について	
身体拘束について(2回)	
ユニットケアについて	

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路ショートステイ

【 平成 31 年度 方針 】

法人理念を基づきご利用者一人ひとりの生活背景を重視しながら、在宅生活を継続できよう支援する。楽しみや喜びを感じながら自立した日常生活を送ることができるように関わりをもつ。より地域に必要とされる施設となるよう、地域活動への参加・交流を深める。

【 重点目標 】

1. 稼働率の安定化

- ① 居宅介護支援事業所との関係作りを継続し、新規ご利用者の獲得、定期利用に繋げる。
- ② ご利用者の入院等、利用のキャンセルに対する情報を早期に把握し、予定の変更に対して、居宅介護支援事業所に空室状況を提供する。
- ③ 緊急での依頼には特に速やかな対応と連携に努め、稼働率の向上を目指す。
- ④ 特別養護老人ホームとご入居者の入院や空床状況の情報共有を行い、空きベッドを有効に活用する。

2. サービスの質の向上

- ① ご利用者、ご家族、介護支援専門員からの希望に対して即応する。
- ② 暮らしを支える支援だけではなく、レクリエーションや外出行事を積極的に行い、ショートステイ利用中ならでの楽しみを提供する。
- ③ サービス担当者会議に積極的に参加し、在宅サービスの理解を深める事でご利用者およびご家族が求めているサービスを提供し、満足度の向上に繋げる。
- ④ ユニット会議を定期的で開催しご利用者、ご家族の意向や意見を多職種と共有する事でより良いサービスを提供する。
- ⑤ サービス満足度調査を行い、ケアの振り返りと今後のケアの充実を図る。
- ⑥ 居宅介護支援事業所を始め、特に在宅サービス提供事業所と情報交換を行い、関係性を構築することで、在宅サービスとしての役割を果たす。

特別養護老人ホームレーベン横大路・ショートステイ

平成31年度 年間行事計画

月	行事名	備考
4月	<u>春の風物詩</u>	
5月	端午の節句	
6月	<u>ユニット企画</u>	
7月	七夕	保育園交流
8月	<u>夏の風物詩</u>	
9月	① 敬老祝賀会 ② <u>レーベン横大路祭り</u>	
10月	① 区民運動会参加 ② 児童館ハロウィン	①②地域行事
11月	<u>秋の風物詩</u>	
12月	① 冬至(ゆず湯)② <u>クリスマス</u> ③新年準備④もちつき	④保育園交流
1月	お正月・初詣	
2月	節分	
3月	① ひな祭り ② <u>ふれあいのつどい参加</u>	②地域行事
その他	お誕生日会(該当月) おやつ作り(月1回程度)	

* 下線が引いてあるものは、ご利用者の実費負担となります。

平成31年度 研修・勉強会

感染対策研修 ・手洗い
・食中毒
・インフルエンザ、レジオネラ
・ノロウイルス
・流行している感染症
褥瘡予防について
事故予防について(2回)
高齢者虐待について
身体拘束について(2回)
ユニットケアについて

平成31年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路 総務部

【平成31年度 方針】

平成31年度は、2会計増え16会計になる。

10月には、処遇改善加算の見直しがあり、給与・手当等の改善等が必要になってくるため収支を明確にする。

人材については、就職フェアへの参加をはじめ、技能実習生（ベトナム）の受け入れを行い不足解消に努める。

ヴィラ向島総務と連携して上記達成を目指す。

【重点目標】

（1） 会計の分析

1. 毎月の稼働率を意識し、人件費支出・事務費支出・事業費支出の収支を把握し、安定した施設運営に努める。
2. 半期決算を行い、事業計画の進捗状況を確認する。

（2） 人材確保

1. 今年度は、福祉系専門学校の実習生を受け入れる予定であり実習を通して新規採用を目指す。
2. 1名の技能実習生を受け入るにあたり生活環境を整える。
3. 人材不足の折には速やかに人員補充ができるよう紹介会社派遣会社との関係を築く。

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
レーベン横大路 デイサービスセンター

【平成 31 年度 方針】

- 1：常に法人理念を意識し、ご利用者にとって居心地のよい「居場所」となるようサービスを提供する。
- 2：ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていただく為に、提供するケアを見直しながら個別ケアの充実、ご利用者が主体的に参加できる環境づくりと支援を目指す。
- 3：ご利用者・ご家族・地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【重点目標】

1. ご利用者の「声」を大切に
 - ① ご利用者ひとりひとりの「声」を大切にしながら、「楽しみ」に繋がる個別的な取り組みの実施、ご利用者がワクワクしていただけるような行事やイベントの計画・実施に努める。
 - ② 介護中の事故やリスクに注意し、事故発生時に迅速に対応できるよう職員の意識向上と体制・環境づくりに努める。
2. 職員のスキルアップ
 - ① 法人研修や外部研修への参加、介護技術向上の為に介護ランク制度 C ランク合格を目指し、職員の知識・技術向上に努める。
 - ② 部署の代表として各委員会に参加し、状況把握・情報共有・現場への伝達を密に行い、現場実践に取り組む。
3. 地域連携の維持・拡大
 - ① 地域の活動に積極的に参加し、事業所のアピールをするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域の横大路保育園や洛水高校との交流やボランティアの受け入れを積極的に行う。
4. 定員枠上限までを目標に利用者獲得・稼働の安定
 - ① 法人内外の居宅介護支援事業所や包括支援センター等の関係事業所との情報共有・連携を図り、定期的にセールスポイントをアピールし定員枠上限までの登録維持に努める。
 - ② 年間平均 93% 以上を目標に稼働の安定を目指す。

年間行事計画

4月	お花見外出(桜)
9月	敬老祝賀会 ・ レーベン祭
3月	作品展
<p>※毎月のお楽しみ企画をイベントとして実施します。</p> <p>食事：面前提供(月2～3回)</p> <p>お楽しみ企画：花の会(毎月15日)</p> <p style="padding-left: 40px;">絵ごころ教室(毎月2回 月曜日)</p> <p style="padding-left: 40px;">パンの日(毎月第2・3火曜日)</p> <p>横大路保育園との交流(7月：七夕 12月：もちつき 3月：ひな祭)</p> <p>洛水高校との交流</p> <p>ボランティア様協力によるイベント</p>	

研修・勉強会

法令研修	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防について ・事故予防について(2回) ・高齢者虐待について ・身体拘束について(2回)
感染対策研修	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い ・食中毒 ・インフルエンザ ・ノロウイルス・レジオネラ ・流行している感染症
部署勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術 ・デイサービスとは

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
元 源

【 平成 31 年度 方針 】

- 1：法人理念を意識し、ご利用者の「声」に寄り添ったサービスを提供する。
- 2：ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けて頂くために、他の居宅サービス事業者・地域の関係者との連携に努める。
- 3：ご利用者・家族、地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【 重点目標 】

1. ご利用者の「ウォンツ」から「ニーズ」を追求する
 - ① 常に「満足度」を意識すると共に「入浴の楽しみ」と「入浴以外の楽しみ」の両方を持てるようなサービスを提供する。
 - ② 施設内外の研修や部署内での勉強会の計画・実施。
介護技術面の底上げの為に、法人内介護ランク制度の C ランク合格を目指し、基礎からより高い介護技術を身につける。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ① 地域ケア会議・運営推進会議等で事業所の活動をアピールするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域や学校、保育園との交流を広げる。
3. 事業運営の安定
 - ① 法人内外の居宅介護支援事業所等の関係施設と連携を深め、毎月の営業活動に力を入れ、稼働率の向上に努める。
 - ② 定員枠上限までの登録維持と稼働 90%を目指す。

行事・イベント計画

9月	敬老のお祝い
12月	クリスマスイベント
1月	新年イベント

他、企画として花楽の会・皆勤賞の実施・季節風呂・変わり湯など

研修・勉強会

法令研修	・褥瘡予防について
	・事故予防について(2回)
	・高齢者虐待について
	・身体拘束について(2回)
感染対策研修	・手洗い
	・食中毒
	・インフルエンザ
	・ノロウイルス・レジオネラ
	・流行している感染症
部署勉強会	・介護技術
	・短時間デイサービスとは

平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路居宅介護支援事業所

【平成 31 年度方針】

法人理念「共に生き 笑顔で支えあう 暮らしづくり」を念頭に、介護保険法・その他法令を遵守し、ご利用者やご家族、地域の方々、関係機関の信頼が得られるよう職員同士が協力し、業務に取り組みます。

【重点目標】

1. 尊厳と法令遵守

- ① 自主点検を基本とし、法令を遵守します。
- ② 事例検討などを通じ、支援内容の検証を行います。
- ③ ご利用者の意向や権利を尊重した援助計画を策定します。
- ④ 「専門職倫理」を高め、業務に取り組みます。

2. 運営安定と専門性の向上

- ① 職員 1 人あたり担当 35 件の維持を目指します。
- ② 部署内の情報共有に取り組みます。
- ③ 内部・外部の研修に参加し、新たな知識や多角的視点を学びます。
- ④ 第三者評価や満足度調査など、客観的な評価を取り入れます。

3. 地域貢献への取り組み

- ① 地域住民や他機関とのネットワークづくりに努めます。
- ② 職種や法人を超えた連携に努めます。
- ③ 地域の取り組みにも協力します。
- ④ 地域包括ケア推進に協力します。

4. 防災意識を持ち、災害発生に備える

- ① 防災訓練やマニュアル理解に努めます。
- ② 情報管理や行動計画の策定、担当ご利用者への注意喚起に取り組みます。

5. 働きやすい職場環境づくり

- ① 意見交換しやすい雰囲気づくりや機会づくりに努めます。
- ② 勤務時間内で業務が完了できるよう業務の効率化を図ります。
- ③ 有給休暇取得奨励、職員のリフレッシュにも積極的に取り組みます。

平成 31 年度事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
京都市向島地域包括支援センター

【平成 31 年度 方針】

法人理念である『共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり』を念頭に置き、『地域包括ケアシステム』の構築を目指します。具体的には、平成 31 年度も、「認知症独居高齢者を主とした高齢者の支援のネットワーク構築」とし、各関係機関と地域活動を展開します。

【重点目標】

(1) 総合相談業務事業

○職員の資質向上を図り、ワンストップサービスが提供できるように取り組みます。

(2) 権利擁護業務事業

○ネットワークを通じた地域や個別ケースの実態把握・課題抽出を進め、必要なサービスに関する情報提供などの積極的な初期相談を対応します。
○権利擁護の観点から対応が必要な方への対応や高齢者虐待の早期発見や予防啓発に取り組みます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務事業

○居宅の介護支援専門員やサービス事業所等からの日常的相談対応や支援困難事例への協力など、個々の事例に応じて後方支援に努めます。

(4) 介護予防ケアマネジメント業務事業

○地域の高齢者が主人公として身体的・精神的・社会的機能の維持・向上に取り組み、一貫性・継続性ある地域支援事業と予防給付マネジメントを展開し、介護予防マネジメント体制の確立に取り組みます。
○地域の関係者とともに普及啓発活動に努めます。

(5) 全戸訪問事業

○独居高齢者へのアプローチを計画的に取り組み実態把握に努めます。また、昨年度同様、向島全域を消防署、地域組織との同行訪問も実施し、独居高齢者だけでなく、高齢者世帯の把握にも努めます。

(6) 各関係機関との連携業務事業

○地域に住む高齢者の方々が地域の社会資源が有効活用できるようスムーズな連携の確保“顔の見える関係づくり”を目標に各種の会合（民生児童委員定例会、学区社協の定例会）に積極的に参加し相互の情報共有を行います。